

## 平成 24 年度第 2 回

### 東御市地球温暖化対策地域推進協議会議事要旨

H25. 3. 25(月)9:00～11:00

東御市役所庁舎 2 階全員協議会室

#### 【出席者】

(委員:敬称略)

宮原 則子、笹平 英俊、山口 吉久、白鳥 範男、関 正喜、関 幸枝、新田 詔三、  
中澤 亥三、萩原 猛、工藤 浩平、

〔欠席:大平 重利、長谷川 岳大、高藤 圭一、森 まり子、高橋 大輔〕

(事務局)

柄澤市民生活部長、土屋市民課長、勝山生活環境係長、大塚生活環境係主査

#### 【配布資料】

- ・東御市地球温暖化対策地域推進協議会会議次第
- ・東御市地球温暖化対策地域推進協議会委員名簿
- ・東御市地球温暖化対策地域推進協議会設置要綱
- ・資料 1 東御市地球温暖化対策地域推進計画 課別進捗状況(短期目標達成状況)
- ・資料 2 東御市地球温暖化対策地域推進計画 課別推進計画総括表(中期実行計画)

## 【議 事】

### 1. 開 会

### 2. 宮原会長、柄澤部長あいさつ

### 3. 会議事項

#### (1) 東御市地球温暖化対策地域推進計画について

- ・市役所課別進捗状況 2012 年度末について
- ・市役所課別中期実行計画について

事務局説明

説明資料 「資料 1」 「資料 2」

#### (2) 実績の点検と公表について

事務局説明

#### (3) 新委員の委嘱について

#### (4) 意見交換

### 4. その他

### 5. 閉 会

---

## 【内 容】

### (3) 東御市地球温暖化対策地域推進計画について

- ・市役所課別進捗状況 2012 年度末について

事務局

短期目標の最終年度ということで、施策メニューごとに達成度と削減量を記しました。その合計は、すべてが算出できていませんが、目標値の 45.6%という結果となっています。

中澤委員

数値目標のあるものは達成数値だけでなく、達成率も記入されていればメニューごと、分野ごとの弱点が見えてくると思う。

事務局

ご意見の通りです。今回は、非数値目標のメニューも含めて全体計画の状況をご確認して

もらうため資料を用意しました。統計数値が上がっていないメニューもありますので、確定した達成状況や達成率は次回の会議で提示していきたいと思います。

萩原委員

発光ダイオード（LED）照明の導入については、非数値目標となっているが、従来機器との電気使用量で削減量が求められるのではないかな。

また、水道管内に水力発電機を設置することについて情報収集を始めたとなっているが、農業排水も同様に研究してもてほしい。

事務局

市内防犯灯は新設、更新、撤去の管理がなされていますので、削減量を求めていく方向で検討したいと思います。

農業排水については、農林課へご意見をつないで対応したいと思います。

宮原会長

地中熱エネルギーの導入に向けてボーリング調査を行い、導入計画を見送ることとなっているが、具体的な内容はどのようになっているか。

また、公共交通機関の利用促進として、しなの鉄道の利用状況は増加を見込めないとしているが、大屋駅の実態は把握しているか。

事務局

地中熱エネルギーの調査については、改築する中央公民館へ導入に向けて行われました。ボーリング調査の結果を踏まえ、熱効率と施設規模からみた試算を行った結果、費用対効果の検討から導入しない方向となり、実績のある太陽光発電に切り替えることとなりました。

また、駅利用については田中駅と滋野駅で計算しておりましたが、按分法などを用いて市民の利用人数が得られるのか調査していきます。

新田委員

大手通信メーカーなどが行っている太陽光の屋根貸し制度や、上田市内で進めようとしている投資式の太陽光発電の普及は東御市では行わないのか。検討をしてほしい。

事務局

本年度、市の施設全体の建築状況を確認し、公共施設の屋根貸し制度の可能性を検討し始めました。耐久性などの課題や条例の変更も必要になりますので、引き続き検討していきます。また、上田市での取り組みには自然エネルギー上小ネットと関わりとして東御市も参加をさせていただいています。さらに、先進事例を見させていただくと、民間事業者の屋根ですと10～15年の事業計画で見た時の事業者の存続という安定感に課題があると聞いています。市では安定した公共施設を利用することを最優先としました。

## ・市役所課別中期実行計画について

事務局

先ほどの短期目標の実績を踏まえた、2020年までの施策メニューの見込みを提示しました。

工藤委員

廃食用油のバイオディーゼル化やバイオガソリンといった分野は、市単独では実現が難しい。広域で取り組みをしていく必要がある。

森林整備は大きな削減目標を抱えている。森林税の使途も踏まえた森林整備の現状、展望を中期計画2020年までの各年度に記してほしい。

事務局

バイオディーゼルについては、検討します。

森林整備については具体的に計画を記載したものにしていきます。また、森林税は県税であり、県の事業予算となっていますのでお示しできる事項とできない事項とあると思いますが、次回に向けて資料を用意いたします。

荻原委員

エコアクション21取得補助を新設してほしい。

ノーマイカーやレンタサイクルは、都市計画や道路整備計画などと連動した考え方をしていく必要がある。

事務局

担当課と検討をしていきます。

中澤委員

エコアクションの導入については賛成です。以前、エコアクションの審査を経験しましたが、推進する部署は積極的なのですが、部署によっては理解がされていない部分もありました。市役所の環境マネジメントシステムはISOがベースになっているとおもいますが、同様な現象がないよう願います。エコアクション21は環境省が推奨する取り組みで維持費が安価なものと複雑なシステムでないことがメリットで、長野県でも導入、推進をしています。

中澤委員

中期計画策定にあたっては、数値目標のあるものは年度ごとの目標数値管理ができる内容とし、非数値目標については具体的な実行計画を明記するようにしてください。例えば、ただ「広報する」だけでなく、〇〇課が年に●回市報に記事を掲載するなど。

事務局

ご意見を反映させたいと思います。

関委員

レジ袋削減については何年も取り組みを行っていますが、ポイントや割引といった店舗側の配慮があると数値が良くなるのですが、そうでないとレジ袋の使用率は増えてしまう傾向にあるようです。有料化によって大幅にマイバッグ持参率が向上した例もたくさん伺いますので、県が主体となっていますが「レジ袋無料配布中止」の実現に取り組んでください。

事務局

実行に向けた会議に出席し、市としましても取り組みに同調していく考えですが、事業所の経営上の意向にまで強制力がないのが実態です。今までの取り組みを継続し、グリーンコンシューマー活動の普及を図っていきたいと考えています。

## **(2) 実績の点検と公表について**

事務局

実績の点検については、会議後にご意見をいただきたいと思います。本計画は国の政策のもと進めていますので、その動向も視野に入れながら評価、公表していきたいと考えています。

荻原委員

原発事故以来、全国的に原発が停止し化石燃料を使った発電を再開した中で、国の機運も下がっている気がしますが、どうなっていくのか。

事務局

法で定められた政策ですので、一定の方向性を示していく必要があると思います。目標を大きく下回る今回の結果をみると、手法を根本的に見直す必要があると感じていますし、策定中の市総合計画後期計画の中で事業化し、達成させる努力を担当部署と議論していきたいと思っています。

## **(3) 新委員の委嘱について**

事務局（提案）

この3月31日で任期満了を迎えますが、この計画は継続性が重要ですので、現委員の皆さまには再任の方向で準備をしていただきたい。また、協議会の設置要綱にある定員は20名、現在15名ですので、市民公募などによって新委員もお迎えしたいと考えています。

## **(4) 意見交換**

関委員（日信工業）

本年9月稼働を目指して、太陽光発電システム導入（土地貸し）を計画し、法や規制をクリアできる書類が整いました。内容は新張地籍に11000㎡、600kwとなっています。

白鳥委員（信州うえだ農協）

環境配慮した農業の整備を主とし、有機肥料の活用や地下水の保全などを行っている。まきストーブを扱っているので、市が始める助成制度が弾みになることを期待しています。

山口委員（長野都市ガス）

ガス設備は3年に1度点検が義務付けられていますので、その内容によって導入件数などを数値化することができます。現在は、主に昼間は太陽光、夜はガスのダブル発電を売りにしながら、ハウスメーカーの皆さんと家庭用省エネ診断にも取り組んでいます。

笹平委員（中部電力）

原子力の停止により平成23年度のCO2排出係数は0.341 kgから0.469 kgに上がりました。上越火力発電所のようなより高効率の発電設備を導入しながら、一方では、省エネ、節電へのお願いを続けています。